

# EA115MM-33(ハンドスプレー)取扱説明書

Ver.1.0

このたびは、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
製品を安全にご使用頂く為にも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。



## 警告

- ・圧力のかかった本体を、直射日光にさらさないで下さい。
- ・使用後、タンク内に液体を入れたままにしないで下さい。

## 仕様

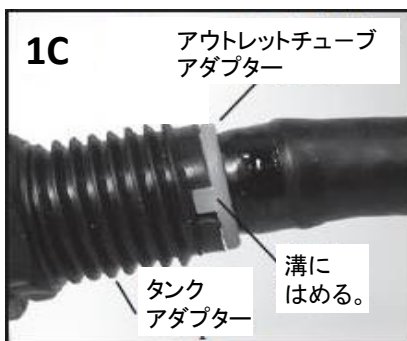
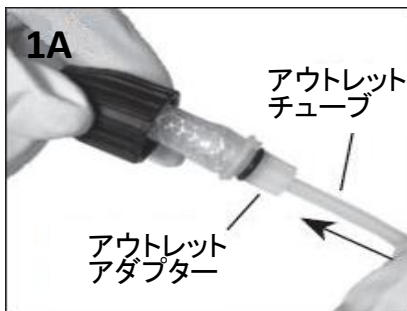
- ポリエチレン製タンク
- 使用液体…水・除草剤・殺菌剤等
- タンク容量…11.4ℓ
- ノズル長…500mm
- ホース長…1200mm
- サイズ…φ 200×650(H)mm
- 重量…2.3kg
- 付属…ポリマー・真鍮製ノズル



## 注意

- ・使用時は、保護めがね等の保護具を身に付けて下さい。
- ・圧力をかけたまま、キャップを外さないで下さい。
- ・ポンプ作業時、ポンプ解除時などは、ポンプの上に顔を近づけないで下さい。(内溶液が顔にかかる危険があります。)
- ・ポンプハンドル以外の手段で、ポンプに圧力を掛けないで下さい。
- ・本体を、加工・分解・修理しないで下さい。
- ・可燃性物質、揮発性物質、アルカリ性、酸性等の容器やポンプに影響を与えるものは使用しないで下さい。
- ・必ず充填前には、液体のラベルを読み、スプレー使用に危険性がないか確認して下さい。

## ホースの取付け



- ・アウトレットチューブをアウトレットアダプターに差込んで下さい。(図1A)
- ・アウトレットチューブを先にして、タンクに入れて下さい。  
(アウトレットチューブの先がタンクの底になる事を確認して下さい。)(図1B)
- ・図1C、1Dの様にアウトレットチューブアダプターの溝をタンクアダプターの溝に合わせナットを締めて下さい。

### ●ノズルの取付け

図のように延長ハンドルの先にノズルキャップを選んで取り付けて下さい。



### ●フィルター

アウトレットチューブの先端に付いているフィルターは、噴霧中に異物が詰まるのを防ぎます。洗淨する時はチューブから引き抜いて下さい。洗淨後はフィルターをチューブの先端にはめ、タンクの底部まで中に入れて下さい。

### ●使用前に…

- 1.タンクに取付けたキャップが、しっかりと締まっているか確認して下さい。
- 2.ホースにひび割れ・損傷・劣化が無い点検し、異常のある時は使用を中止して下さい。
- 3.ポンプハンドルを外し、タンクの内外・上底部に、錆などが発生していないか点検して下さい。何らかの欠陥箇所がある時は、タンク破裂の危険があるので、使用しないで下さい。
- 4.漏れ部分に、ツギアテ補修を行わないで下さい。破裂の危険性と人身事故の危険があります。

※以下の充填・加圧・スプレー点検は水を使用して行って下さい。

- 1.ポンプハンドルを10～20回上下させて、漏れを点検します。
- 2.シャットオフハンドル部分の、レバーを握り、ノズルに詰まりがないかを確認します。
- 3.点検で不備がなければ、圧力を解除し、タンクを空にしてから次の作業に移って下さい。



**正しい加圧をかける為、タンクを目盛以上に液体を入れないで下さい。**

### ●充填

※充填前に液体の安全警告ラベルをよく読み、準備して下さい。

- 1.ポンプハンドルを反時計方向に回して外します。
- 2.液体をタンクに入れて下さい。目盛以上に入れないで下さい。入れ過ぎると、適正なポンプ操作ができなくなります。
- 3.ポンプに汚れ等がついていない事を確認し、ポンプハンドルを戻し、しっかりと締めます。

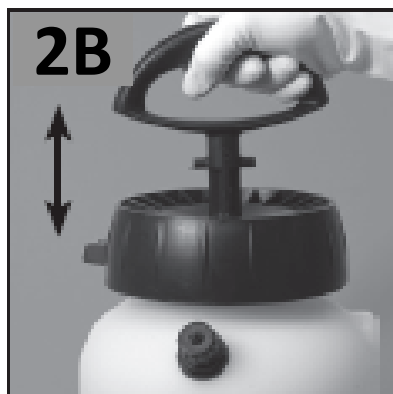
### ●加圧・スプレー作業



**注意: 使用時は、保護めがね等の保護具を身に付けて下さい。**



**2A:** ハンドルを時計方向に1/4回転させ締める。ハンドルのロックを解除する時は、反時計方向に1/4回転して下さい。



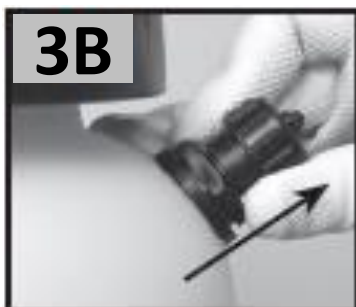
**2B:** ハンドルを上下させて手応えを感じるまで加圧して下さい。



**2C:** 加圧後はハンドルを押し下げて、時計方向に1/4回転させるとロックされます。吐出が弱くなったら、圧力を保つために再加圧して下さい。

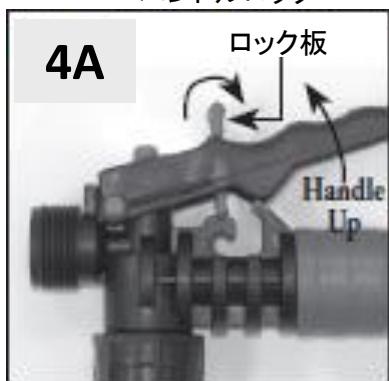
●圧力解除

- ・リリースバルブを引き保持すると、圧力は放出されます。(図3A,3B)
- ・もしくは、反時計方向に回転させる事で、圧力を放出する事もできます。

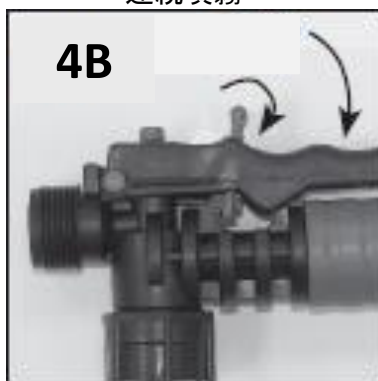


●ハンドル操作

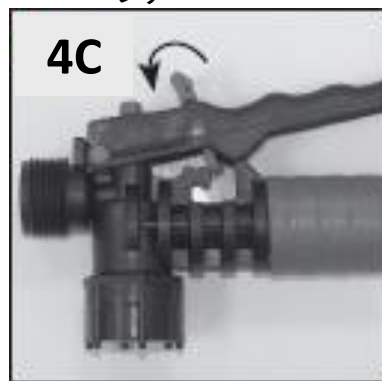
ハンドルロック



連続噴霧



フリー



(4A)ハンドルを少し上にし、赤いロック板を垂直にすると、ロックされます。不慮の噴霧を防ぎます。

(4B)ハンドルを握り赤いロック板を垂直にすると、その状態を保ち噴霧し続けます。

(4C)図の様に赤いロック板が自由の位置にあると、握れば噴霧し、放せば止まります。

●メンテナンス

- ・水だけでタンクをすすぎ、一度タンクを空にして、再び水を目盛まで入れ、ポンプハンドルを8～10回上下させ、加圧します。シャットオフハンドルを握り、ノズル内を洗浄します。
- ・圧力を解除し(前記参照)、ポンプを外します。
- ・タンクを上下逆さまにし、ポンプと一緒に充分乾燥させて下さい。
- ・ポンプロッドに定期的にオイルを10～12滴下して下さい。



**改造はしないでください。**

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業工程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL: (06) 6532-6226 FAX: (06) 6541-0929

14.Dec.